

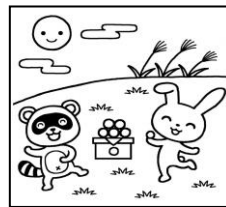


令和5年度

横浜市立生麦小学校

学校だより

横浜市鶴見区生麦4-15-1 学校長 小倉 孝行
<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/namamugi/>



8月(葉月) 9月(長月)

ゆっくり、でも着実に

長い夏休みが終わり、前期後半がスタートしました。夏休みの間、保護者、地域の皆様には子どもたちを見守りいただき、ありがとうございました。また「生麦学び・遊び場の会」の皆様には2～4年生を対象に学習会を開いていただきありがとうございました。夏休み中、いくつかの地域行事に伺いました。皆様が子どもたちに優しく触れ合っていたのが印象的でした。今日、子どもたちの元気なあいさつを聞き、やっと学校が再開したなど感じます。

私は小学生の頃、毎年夏休みに工作展への入選をめざしてものづくりに挑戦していました。確か2年生のとき「未来の空飛ぶオートバイ」というタイトルで作品を出したのが初めてでした。とはいってもアイデアはなく、簡単なオートバイのプラモデルを作り、その座席部分に同じくプラモデルの小さな扇風機を接着剤でくっつけただけのものでした。夏休みが明け最初の登校日、そもそもプラモデルを作品として提出していいのかと、ドキドキしながら担任に渡しました。翌日、私は担任から職員室へ来るように言われました。煙草(当時)を吸いながら「これはなんだ。こんなオートバイはあるのか。」と質問する担任。緊張して何も言えない私。「人が座れたらもっといいんだけどな。来年も、すごいものを見せてくれよ。」と、ぶっきらぼうに、でもあたたかく言われたことを覚えています。もしかしたら、ほかの宿題を終えていなく、そして久しぶりに会う友達とまたうまく関われるかと不安になっていた私に気づいていたのかもしれませんが、学校が始まり数日、仲間や先生とゆっくり話をしていくうちに、次第と笑顔が戻っていったように思います。

校長 小倉 孝行



学校の花壇に小さな柿が実りました。秋が近づいています。

今日から学校は再開しましたが、普段の生活リズムにすぐには慣れなかったり、様々な不安を抱えていたりするお子さんもいるでしょう。私も長い休みの後は身体が辛いものです。子ども一人ひとりの会話を大切に、子どもの気持ちを受け入れながら教育活動を進めて参ります。もし、ご家庭でお困りのことがありましたら、遠慮せずに学校へご相談ください。全員の大人で、子どもたちを支えていきましょう。

秋はゆっくりと時が流れます。これから子どもたちは、学習や行事、趣味など自分のペースに合わせてじっくり取り組んでいきます。皆様には子どもがチャレンジする姿を見守っていただき、優しい言葉をかけていただけましたらありがたいです。誰かを意識し、その人に近づきたいという気持ちは大切です。ですが、誰かとの比較ではなく、大人が励まし、子どもが自分自身の中で高めていくこともとても大切です。一人ひとりの目標は違います。「みんなが頑張る。だから私も頑張ろう。」と思えるのが学校です。子どもたちが自分の目標に挑戦し、達成感を味わえる学級経営、学年経営、学校経営をして参ります。9月11日(月)から二者面談が始まります。お子さんの4月からの学習面と生活面、これからの取組についてお話をいたします。ご多用の中とは思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。一緒にお子さんのことを考えたいです。

今後も熱中症対策と、手洗いなどの感染症対策を行いながら、子どもたちの笑顔をエネルギーとして、さらに多くの児童の笑顔を作っていくように取り組んで参ります。まだまだ暑さが続きます。皆様のご健勝をお祈りするとともに、今後ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

○ 運動会について

運動会は手洗いなどの感染症対策を行い、10月28日(土)の午前中(昼食なし)に実施する予定です。プログラムや参観方法につきましては、9月下旬に皆様にお知らせいたします。どうぞご理解のほどよろしくお願いいたします。